

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護総合特論	4年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	渡辺 しき子
授 業 概 要					
4年間の集大成として、臨地実習が終了した段階で、それまで学んだ知識・理論と実習経験を再統合し、卒業後の看護実践力に必要な基本的な知識・内容の定着を図る。まず各分野・各領域の基礎的な知識を再確認する。続いて、関連する事例をその都度提示するので、確認した知識を用いながら看護実践の根拠を考え再統合を図る。					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を支える学問を再考し、看護に必要な基本的知識を的確に述べる。 2. 看護実践に必要な知識について再確認・統合し、看護実践の根拠を説明する。 3. 自己の看護実践を振り返り、理論と実践の統合について考察する。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門基礎分野の学習内容を再確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 2. 看護学概論の知識を再学習 看護の基本概念や看護の役割と機能について実習での経験を踏まえて考察 3. 看護展開における基礎的な看護援助の方法と根拠を再学習 確認した知識を用いて、実習で実施した看護援助の根拠を説明 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 4. 在宅看護の目的や特徴をふまえた看護の知識を再確認 確認した知識を用いて提示された在宅事例の看護実践の根拠を説明 5. 成人各期の生活や健康問題、成人看護の基本的アプローチ等について再確認 健康レベルに応じた看護実践に関する基本的知識の再確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 6. 老年期の特徴や加齢に伴う変化、高齢者の健康課題と看護の知識を再確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 7. 小児各期の成長・発達および健康レベルに応じた看護の基礎知識を確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 8. ライフサイクル各期・マタニティサイクル各期に必要な看護の基礎知識を確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 9. 精神の健康や健康障害の看護に必要な基礎知識を確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 10. 個人・家族・コミュニティ・地域の健康課題を解決する公衆衛生看護の基礎知識を確認 確認した知識を用いて提示された事例の看護実践の根拠を説明 				渡辺 しき子 保健看護科教員
学 習 方 法					
講義 演習					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 4年間で使用した教科書全て					